

定例教育委員会会議録

令和2年10月28日

境港市定例教育委員会（令和2年10月28日委員会会議録）

招集年月日 令和2年10月28日 15時30分

招集場所 市役所保健相談センター研修室

開 会 15時30分 教育長宣言

教育委員会 教育長 松本 敏浩

委 員（職務代理人） 中田 耕治

委 員 徳永 由樹 十河 淳 渡邊 不二子

教育長から説明のため出席を求められた者

教育委員会事務局長 松 原 隆

教育総務課長 亀 井 功

教育総務課長補佐 吉 川 秀 樹

教育総務課長補佐兼指導係長 柳 樂 力 人

生涯学習課長 黒 崎 享

生涯学習課主査 松 本 昭 児

生涯学習課長補佐兼生涯学習係長 角 本 豪

教育総務課長補佐兼管理係長 足 立 統

傍聴者数 なし

会議書記 教育総務課長補佐兼管理係長 足 立 統

提出議案 なし

協議事項 学校における携帯電話の取扱い等に関する県の方針について

成人式のあり方について

標準学力検査について

9月定例市議会教育委員会関係質問答弁について

報告事項 10月の行事報告、11月の行事予定

市民交流センターの進捗状況について

【1. 開会】

松本教育長

ただいまから10月の定例教育委員会を始めます。

【2. 前回議事録承認】

【3. 議事】

松本教育長

本日は議決事項がありませんので、協議事項から始めます。最初に学校における携帯電話の取扱い等に関する県の方針についてです。

松本教育長より携帯電話の取扱い等に関する県の方針について説明

松本教育長

会の中で真っ先に校長から出た意見は、学校が預かるということはとても負担であり、都会では特別に人を配置して預かるという制度もあるということでしたが、年間通して100万くらいかかるということでした。また、保護者の方からは、そもそも携帯電話について学校に持ち込む持ち込まないの前にもっとルールやマナー、モラルを徹底させることが優先ではないかというご意見がありました。もう一つ校長先生から出た意見として、子どもに携帯電話を持たせないということは、安否確認ができないわけだから、通学路の安全というところをきちんと補償すべきではないかという意見もありました。これは地域の問題かなとも思いますが、一応会の中では今の案が認められました。その後いろいろな意見を聞いて、修正して11月の中旬以降に県の方は方針を確定するということでした。委員の皆様からご意見を伺えれば、県に伝えたいと思います。

中田委員

この方針で行くということであればそれで良いと思いますが、含みおいてほしいのは、旧態依然とした携帯電話の扱いだなという印象を受けました。今、学校の方ではギガスクール構想があって、校内のWi-Fi環境を整備して、一人一台タブレットを持つようになって、チャットとか使うようになると、携帯電話そのものがナンセンスではないかと。実際、子どもたちが電話でやりとりするより、SNSとかラインで会話をするというのが主流になってくると、携帯電話を持ち込む、持ち込まないということはナンセンスという気がしてならない。もう一つ、携帯電話ではなく、simカードが入っていないタブレットとかは

どうなのか、学校でWi-Fi環境が整っていると、Wi-Fiにつなげて、スカイプとかで電話することができるようになる、そういうところはどうか、ということもあります。学校が預かるということに対して、負担が大きくなるということがありました。何かことが起こったときに連絡がつかないということに対して、学校が携帯電話を預かり、返さなかったために、うちの子がなんらかの事件に巻き込まれた、そういったことに発展しかねません。例は違うかもしれませんが、実際、東日本大震災の避難誘導の際に、担任の先生と傍にいた先生の判断が違って、どちらになるかということで、その辺りが難しくなるかなというところを思ったところです。

松本教育長

ありがとうございます。旧態依然という言葉は会の中でもあって、確かに「今この案を認めるとしても、数年後には全く変わった状況が起こりますよね」という意見もありました。その時は、それに合った方針に切り替えるということは確認をしています。安否確認の部分で、鳥取県西部地震の際に県庁で勤務していた自分が真っ先にとった行動は、娘と息子の安否確認のために携帯に電話したことでした。結局つながりませんでした。親にとって子どもの安否確認はすごく重要なことです。その一方で、学校現場で子どもたちが携帯を持っていて、それぞれが親の安否確認に応じていたら、学校が子どもを誘導するのに混乱が生じるのではないかと。安全だと思って、携帯を持たせることが、逆に退避が遅れ、危険な状態にさらされる原因になることもあり得ます。その辺りも踏まえて方針を定めていかなければいけないと思います。また、学校の負担を軽減するために例外をどう絞り込むか、これはやむを得ないということをきちんと絞り込む。そこは学校だけではなく、教育委員会が定めなくてはならないということになっていますので、ここで相談させてもらわないといけなくなるのかなと思います。その他ありますか。

渡邊委員

今の時点では良い案だと思います。学校現場にとっては、携帯が持ち込まれるということは、すごく混乱することになると思います。でも、言われるように、情報モラルの学習を早く進めていくことが一番だと思います。ギガスクール構想もあって、SNSの使い方やマナーといったことをきちんと推進していく機

会なのかなと思います。

松本教育長

国の方もマナーとかルール作りにおいては、学校だけが作るのではなくて、保護者や児童生徒も主体的にルール作りに参加することが求められるという指摘があり、まさにそうだなと、市内の中学校も今自分たちでルールを作っていて、二中は教室のドアにそのルールを貼っています。携帯の使用は何時までといったことですが、そういった自主的なルール作りというのはすごく重要だと思います。境総合高校が真っ先にルール作りを行ったのですが、携帯電話を通してすごく不愉快な思いをしている生徒からアンケートをとり、どんな場面で不愉快な思いをしたのかをあげさせ、それを基にルールを作ったと伺い、これは良い方法だと思いました。同じようなことがこれから必要になってくると思っています。その他、ありますか（意見なし）。それでは今出たご意見については、県との話しあいの中で紹介させていただきます。

続いて成人式のあり方について、黒崎課長からお願いします。

黒崎課長

令和4年度以降の成人式について、県内3市と松江市の状況をつけております。いずれも20歳のままでやるということで、既にマスコミに発表済であったり、これから発表するということですが、境港市も今年度中には方針を決めたいと思っています。特にアンケートは行っていませんが、15人の社会教育委員さんにアンケートさせていただき、18歳が良いと答えた方が2人、20歳のままで良いという方が7人で、それ以外の方からは、議論を重ねて決めた方が良いというような意見をいただいています。また、先週、境考学という境高の生徒が郷土を学ぶという会の中で、19歳になる年に民法が改正されることになる8名の2年生に成人式についてお尋ねしたのですが、みんな20歳が良いということでした。そこで教育委員の皆様からもアンケートをとった方が良いとかというところも含めて、ご意見をいただけたらと思います。

松本教育長

境港でも成人式の年齢をどう定めるかということについて決めていかななくてはいけないのですが、決め方の問題と、決めるとしたらどのラインが良いのかというところでご意見をいただけたらと思いますので、よろしくお願いします。

中田委員 アンケートと言っても決まるような決まらないようなといったところなので、ポンと決めてしまった方が良い気がします。成人式という名称はどうかと思いますが、20歳という節目が良いのではないかと思います。18歳ということだと、精神的な部分でどうなのかなど。高校を卒業して、大学や社会人を経験してからという方が個人的には良いのかなと思います。

徳永委員 18歳というのは、いつの時点になるのでしょうか？

黒崎課長 18歳になる4月2日から4月1日までになると思います。

徳永委員 高校3年生ということですか、それだとちょっと…。

松本教育長 大学入試に向かう学生もいまして、とてもそんな余裕はないという意見は出ていますね。

黒崎課長 入試と時期が重なるのでという意見が一番多いですね。また、違った観点からだと、着付けとかそういった業界の方からは、18歳だと着物等を着る機会が少なくなるのではないかというところを懸念されていて、20歳のままの方が良いという意見は出ています。

渡邊委員 何のための成人式かというところで、18歳で大人になっていくという自覚を持たせる意味では、私は意義があるかなと思いますが、現実的に考えると、今までの慣習として20歳ということが埋め込まれていますので、そこを打破するのはすごく難しいと思います。アンケートをとっても20歳の方が多くなると思います。自覚を持たせる、18歳を大人と認め、これから社会に出ていくということで育てるためには、18歳もありだなと思ったりもします。

松本教育長 余所では20歳の集いというように名称を変更して実施しているところもありますが、そうであれば18歳という意義をどこかで対象者に押さえておく必要があると思います。ここは高校教育とのタイアップが必要になると思います。

十河委員 私も中田委員と同じ意見で、高校ではなく、一度社会に出て20歳を迎え、そこでけじめをつけて、自分はこれから大人として、成人として行動するという意識づけが良いのかなと思います。高校3年生だと、意識的に低いかなと思います。

松本教育長 選挙権という部分でも、まだまだ高校生は投票率が高くないので、そういったところは教育の中できちんと押さえておかないといけないという反省はあります。ありがとうございました。今後の日程はどうですか。

黒崎課長 3月議会で報告という形にしたいなと考えています。

松本教育長 次に標準学力検査について柳楽補佐よりお願いします。

柳楽補佐より説明

松本教育長 ただいまの説明についてご意見等あればお願いします。

十河委員 先日、第二中学校の学校訪問で授業を拝見させていただきました。先ほど説明いただいたように子どもたちが授業に向かう姿、学習できている姿を観させていただいてますので、家庭学習の定着する方向に持っていくとか、今はメディアの時間が長すぎて、子どもたちはいつ勉強しているのだろうというところもありますので、宿題が良いとは一概には言えないのですが、子どもたちが自分たちで宿題なり、自主学習に向かえるような仕組みだとか、きっかけがあればと思います。授業やQUの満足度を見ると、すばらしい結果は出ていますので、そこが残念でならないなと思います。

松本教育長 これだけQU等で前向きな回答が出るということは、学校がおもしろくないということだと、こういった回答は出てこないもので、授業の中でもわかったという瞬間はあると思いますが、確かな力になっていないということは、継続というところで境港の子どもは課題があると思います。その一方でメディアとの接触時間が非常に多いという特徴がありますので、その辺りをどう切り込んでいくのか、ずっと前からの課題ですが、ここに切り込んでいかないと、確かな力を育てることはできないと思

います。また、この問題は学校だけでどうにかなるものではないので、家庭や地域と一体となって、取り組んでいく必要があると思います。

渡邊委員

5年生の時と比べて、そうそう変わりはないと思いますが、境小学校がすごく上がっていますので、かなり指導力を発揮されていると思います。背後にあるものを今分析されていると思いますが、そこは大きなポイントになると思います。集団が変わっているわけではないので、働きかけや学校の体制づくり等こういったところが変わったというところを共有できれば、全体も上がってくると思いますので、よろしくお願いします。

松本教育長

その他ありますでしょうか。この問題については、引き続き協議してまいりたいと思います。

中田委員

学校が楽しいということが一番良いのですが。

松本教育長

境港の子どもは、こちらがあいさつするときちゃんとあいさつを返してくれますので、良い学校生活を送れていると思います。それだけに力をつけさせてやるということが、学校の使命だと思っています。この件についてはよろしいでしょうか（異議なし）。それでは、9月定例市議会の質問答弁について、ご意見をいただきたいと思います。

中田委員

マイクロプラスチックによる海洋汚染について啓発に努めたいとありますが、世界的にこういったことはやっていかないといけないと思いますが、その辺りの指導方法等具体的なところがわかれば教えていただきたいのですが。

黒崎課長

海の関係で答弁しているのですが、マイクロプラスチックについては、環境問題になるので環境衛生課とタイアップしてということになると思いますが、市長の公約の中で海について、そういったことを危惧しているという発言がありましたので、このような答弁になっています。具体的なところはすぐには思いつかないのですが、環境衛生課と一緒にプラステックごみを減らすというところから始めて、海にそういったものがないように、という形になるかと思っています。

中田委員 ごみを減らすという、普段の習慣的なものが大事だと思います。子どもたちからの教育というか、習慣というか、道徳というか、そういった部分で、モラルというところも絡んでくると思いますね。

黒崎課長 中海にちなんで船に沖合に出て、環境問題について考えるようなイベントをやっています。そういったものも環境教育の一環としては有効ではないかと思います。

松本教育長 そういったモラルをどう定着させるかというところをこれから考えていく必要があると思います。昨年セーリングの世界大会を開催した際に、世界のトップ選手が、大会が始まる前に自主的にビーチを歩いてごみを集めました。こういったところは見習って、例えば体育館を使用する際は終わった後にモップ掛けをします、それと同じようにビーチバレーが終わった後にゴミ拾いをする、中海でペーロン大会が終わった後にみんなでゴミを拾うといったことを習慣化することが大事だと思います。また、夏休みの科学研究の中でプラスチックごみのことを研究のテーマにしていたお子さんもいましたが、そういったことが広がっていくと良いと思います。その他いかがでしょうか。

渡邊委員 ギガスクールの答弁で今後公民館も利用してとありましたが、その中に支援センターの不登校教室も入れてほしいなと思いました。また、ICT支援員さんについて、どういう方なのか、中身がわかれば教えていただけないでしょうか。

亀井課長 今井書店さんとICT支援員さん1名の契約をさせてもらっていて、各学校でギガスクールだけではなく、先生の公務系のシステムの支援、児童生徒のプログラミング教育、情報モラル教育の支援、環境全般についてお助けマン的な役割で回ってもらっています。

渡邊委員 直接授業をしてもらうというところはないのですね。

柳樂補佐 あくまで授業支援になります。こういった場合はこうしたら良いといった助言をいただき、先生方はそこで力をつけていく

という感じです。たまたま昨日、情報部会の先生方が自主研修をしまして、ICT支援員さんもそこに参加され、私も担当として、参加してきたのですが、今後の一人一台端末に向けた情報の共有をしていただきました。

渡邊委員 ぜひ力のある方を配置していただくようお願いします。

亀井課長 今は1名お願いしているのですが、これだけ端末も増えてくるということで、来年はもっとICT機器を使った授業も増えてくると思いますので、来年の予定としては、もう1名、あるいは2名増やして、各校に回っていただく回数を増やすというところで計画しています。

松本教育長 提案のあったやすらぎルームについてはどうですか。

亀井課長 やすらぎルームについては既にインターネットが接続してあって、県が提供する学習ソフトも使用していただいています。公民館については、学校が臨時休校になった場合に、ネット環境が整ったご家庭だけでなく、分散して公民館でもできるような環境も作っておくということで、考えているところです。

黒崎課長 公民館については、12月補正を考えております。

松本教育長 その他いかがでしょうか。

徳永委員 学校給食のことでここには載っていませんが、質問の最後に無償提供事業の話があったと思います。コロナの影響を受け、国の事業で学校給食に県内産のお肉や魚等、高価な食材を使うということになったと思いますが、その仕組みについて、私たちが働いて納めた税金が使われ、学校給食にこういった形で食材が提供されているということを、子どもに知ってもらうことがすごく大事だと思いますので、単においしいなというだけではなく、そういった仕組みも理解して欲しいし、口に合う、合わないではなく、給食は残さず全部食べるというところを繰り返し教えていく必要があるのではないかと思います。それと星空舞の件ですが、星空舞週間が1月にまたあると聞いています。実際に境港市に提供されている海藻米を育て、管理している優

栽というところに聞いてみましたが、現在、境港に提供されている日野米はコシヒカリだそうです。星空舞についてはコシヒカリとササニシキをかけて、そこにゆめそらを何回かかけて作っているものだそうで、それぞれ全く別のお米だということでした。鳥取県にはこういう米もあるということを知ってもらっては悪いことではないと思いますので、境港でもこのキャンペーンを利用して、1日でも給食に提供してもらえたらと思います。

足立補佐

星空舞が1月に提供されるという情報はまだ入っていないのですが、給食センターと相談して、現在の日野米があまり減らないような形で、提供できたらと考えています。協定で日野米を最優先で購入すると謳ってありますので、可能な範囲で実施できたらと考えています。ちなみに10月15日からは、境港で採れたお米が入っており、来週くらいまで、そのお米が給食で提供されることになると思います。

松本教育長

優栽とは年間を通しての契約を結んでいますので、そこから購入する必要があるのですが、例えば鳥取県の日のような特別な日に鳥取県が推奨するお米を食べるということはできるのではないかと思います。その辺りは給食センターとも相談してやっていきたいと思います。確かに米の種類は違うのですが、優栽の特色は中海の海藻を使うというところで、それもあって高いお米を契約させてもらっています。その辺りの歴史も大切にしながら、いろいろ工夫してやっていきたいと思います。

中田委員

海藻米は鳥取県の認定米でもあるのですかね。

松本教育長

そうです。境港市の子どもは鳥取県の中でも一番ブランドの高いお米を食べているのかなと思います。その他いかがでしょうか。

十河委員

芝生化のことについて伺いたいのですが、芝生化されて10年経って、実施されていないのが第二中学校と第三中学校の2校なのですが、この2校について今後芝生化の予定がありますでしょうか。また、あえてしないのであれば、その理由を教えてくださいませんか。

足立補佐

校庭の芝生化については、元々は小学校のグラウンドを実施する予定にしていたのですが、たまたま境小学校のスポ少野球部の関係で協議に入っていた方が、第一中学校のPTA会長だったこともあり、うちも芝生化したいという要望があり、芝生化したところでした。正直なところ、中学生の踏む力は小学生より全然強いということもあって、芝生が定着しないのではないかとこの危惧がありました。実際サッカーゴールの付近等は芝生が定着しなくて、何度も整備したということもありますので、中学校については、芝生化は難しいかなという認識です。

松本教育長

自分が校長の時に中村市長から中学校も芝生化したらという提案を受けました。既に芝生化している学校の状況を確認させていただきましたが、その中で一番心配したのが、先ほど説明があったサッカーで、スパイクを履いての活動に芝生が耐えられず、芝生が持たないということでした。また、二中の建替えの際にグラウンドにハンドボールコートが2面できましたが、ハンドボールコートが芝生ということはありませんと、野球のダイヤモンドとハンドボールコートが芝生でない状況で、全体の図柄を見た時にどうしたものかと思い、中学校は実施しませんとお答えしました。市長は最後まで気にしておられましたが…。今は一中の校長が毎朝丁寧に芝生を管理しており、見事に芝が復活しております。きちんと手を入れれば、中学校でもできないことはないかと思いますが、毎日しっかり管理しないといけません。1週間に1回ではダメージが残るかなと思います。二中についてはグラウンド全体が緑になりつつあるので、管理のことを考えれば、「芝生はどうか？」と尋ねても良いと思いますが、そこは課題とさせていただきます。その他ありませんか（質疑等なし）。それでは、協議事項は以上とします。引き続き、報告事項についてお願いします

【4. 報告事項】

《教育総務課 生涯学習課 行事等報告》

黒崎課長より市民交流センターの進捗状況について報告

松本教育長

ただいまの報告について質問等ありませんか（質問等なし）。

徳永委員

ここには載っていませんが10月20日に中浜地区の防災訓練があって、私も参加したのですが、避難訓練をしようという話が出たのが8月だったと思います。最初はみんな乗り気じゃなくて、平日の4時に放送してということで、「そんなの？」という話だったのですが、何回も打ち合わせがあり、各種団体の方も来られ、それぞれが地域に持ち帰って、結構2か月間で密な話し合いがありました。実際、参加者も500人を超えて、私は三軒屋町だったので竜ヶ山に避難したのですが、大人の方は何班の誰々、だとすぐにわかるのですが、子どもの顔がわからなくて、来てもチェックができない状況で、今回改めてあそこの家の子かという感じで、大人みんなで確認できて良かったです。また、大人はショートカットしたりするのですが、子どもは信号がある横断歩道をしっかり渡って避難してきました。やはり遠いところから歩いてくると時間がかかる、年配の方は特に時間がかかるということで、本当に起きたら、どうするのかなという話をできたし、保護者さんはこういう人がいて、顔も知らない人が結構いるなということもわかり、すごく良い訓練でした。この訓練が役に立つか、立たないかというより、それをするまでにこういう話し合いをみんなで共有してやってきたことがすごく良かったと思います。来年どうするのだという話を各地区持って帰って、来年はもう少しこうしようとか、いろいろな話のできたのでとても良かったし、学校の先生が各地区に来られ、先生は子どもの顔がわかるので、「〇〇君」という感じで言ってくれて、それを聞いて、こちらもわかるようになるのでとても良かったです。

松本教育長

私も様子を観に行かせてもらいましたが、中浜は強いなと思いました。普段から見守り隊をやっておられ、みんなが交通指導に入っておられるので、これができるのは中浜だけだなと思いました。他ではなかなかこういった体制はできないなと思いました。やはり、こういった訓練が災害に強い子どもたちを作るのだと思いました。こういったことを一回でも経験するという事は、子どもにとって、ものすごい財産だと思いますので、ぜひ続けていただきたいと思います。これを繰り返すと子どもの名前もわかってきますので、さらに地域が強くなると思います。他には質問等ありますか。

柳樂補佐

関連ですが、11月22日に地域学校協働推進フォーラムをナマステホールで行います。今、お話に出た中浜地区の防災訓練についても、実践発表としてその中に入っております。その他、雲南市の新職場体験の話等も盛り込んでいますので、よろしければご参加いただきますようお願いいたします。先ほどの訓練ですが、当日だけでなく、学校の方では事前学習等に地域の方を招いたりして、子どもたちの意識を高めるところに力を入れていて、次年度につなげていければと思っています。

松原事務局長より小学校の修学旅行の日程について報告

松本教育長より部活動の際の選手輸送について県と協議する旨を報告

【5. 閉会】

松本教育長

それでは議題は終了しました。本日の定例委員会は閉会いたします。ありがとうございました。